

# ひがしの子

令和5年12月22日  
岐阜市立岐阜東幼稚園  
園長 藤井 佐由美

## なつめ組の子どもたちが、おばけめいろやお店屋さんにごあら組を招待したよ！！



なつめ組の子どもたちが、入れ替わり立ち代わり給食後のひと時を活用して「おばけめいろ(?)」を制作しています。もとは「かくれんぼ」をするために活用していた大きな段ボールを「黒くしたい」と言い出し、真っ黒に塗ってトンネルを作りました。日によって「おばけめいろ」で遊ぶ子どもが変化するため、思いやイメージも変化していきます。

この日は、「おばけ」役になりたい子どもが、お客さんと呼び込み所々に待機していました。私も、ようやく大人の体が入るくらいのトンネルへと入っていくと、暗さにこだわった足跡がみられ、途中の段ボールと段ボール狭間で、平段ボールで道を閉ざし、「ここは通れません。」と言ってニヤニヤしています。私は、「困ったなあ、迷路みたいだなあ・・・」とつぶやき、「どうしたら出られるんだらう・・・」と言うと、「ここは130数えたら、通れます。」と言うのです。そこで、「1, 2, 3・・・129, 130!」と途中を随分省いて数えてみせると、「だめ、ちゃんと数えないと・・・」との厳しい言葉。もう同情をかう作戦しかないと思い、「だって、10までしか数えられないんだもん・・・」というので、10まで一緒に数えてくれました。その先に進むと、布をかぶったおばけがおり、「このおばけを倒してからしか、出られないよ。」と言います。『さぞかし強いおばけなんだろうなあ・・・どんな作戦がいいかなあ・・・』と考え、「う～ん、このかまぼこをあげるから通して!」とかまぼこみたいな形の作品を渡すと、「こんなものは食べん!」と断られる始末。『これは、難関だなあ』と思っていると、「このおばけは優しいです。だから、このくらいでやっつけることができるよ。」とタッチくらいのパンチでやっつけることができることを教えてくれました。こうして、一度、「おばけめいろ」から脱出できたのですが、「また入って!」と誘われ、結局3回入らせてもらえました。



一方、保育室の別の場所では、『お店屋さん』がオープンしていました。そこでは、本物の水が入った「いちごジュース」や「スムージー」など、きれいな色がついた色水のジュースが売って



いました。本物の水が入っているため、扱いがおのずと慎重になります。子どもたちは、素材に応じてその扱い方を自然に変えていく姿が見られ、本物を扱うことは大切な経験であると思いました。他にも手作りのピザやケーキなど、どれもおいしそうに並んでいました。更に可愛らしい店員さんが、「いらっしゃいませ〜」と呼び込みをすると、こあら組の子どもたちが、事前に配られたチケットを持ち、押し寄せてきました。すると、「ここに一列にならな

でくださ〜い。」と店員さんがお客さんを整備してくれ、その言葉にこあら組の子どもたちが見事に反応してちゃんと一列に並んで待っていました。こあら組の子どもにとっては、店員さんから「どれがいいですか？」と言われて自分で好きなものを選ぶことがとても楽しいようで、時間をかけて選んでいました。こあら組の子どもが、ペットボトルキャップを金色や銀色の紙で包んだお金を渡すと、商品と共に必ずお釣りのお金がもらえます。この一連のやり取りが、楽しいんですね。一番多く並んだこあら組の子どもは、全部で5回も並んでは買い、並んでは買いを繰り返していました。ジュースばかりが売れている様子を見て、店員の一人が、「こっちにケーキもありますよ。」とお客さんを誘導すると、それを聞いてもう一人の店員が、「ケーキもおいしいですよ。」と共鳴している様子が、なんとも可愛らしかったです。時々、互いに顔を見合わせて、『〜だよねえ〜』とでもいうようにアイコンタクトをとっている様子もあり、子どもって遊びの中



でこうやってつながっていくんだなあと思いました。30分ほど続いたお店屋さんの見事な連携プレーでした。そのうちに、店員の方も、お金を払っても払っても「まだ、足りない…」というやり取りを楽しむようになりました。その様子を見ていたなつめ組の子どもが、『大谷翔平』の契約



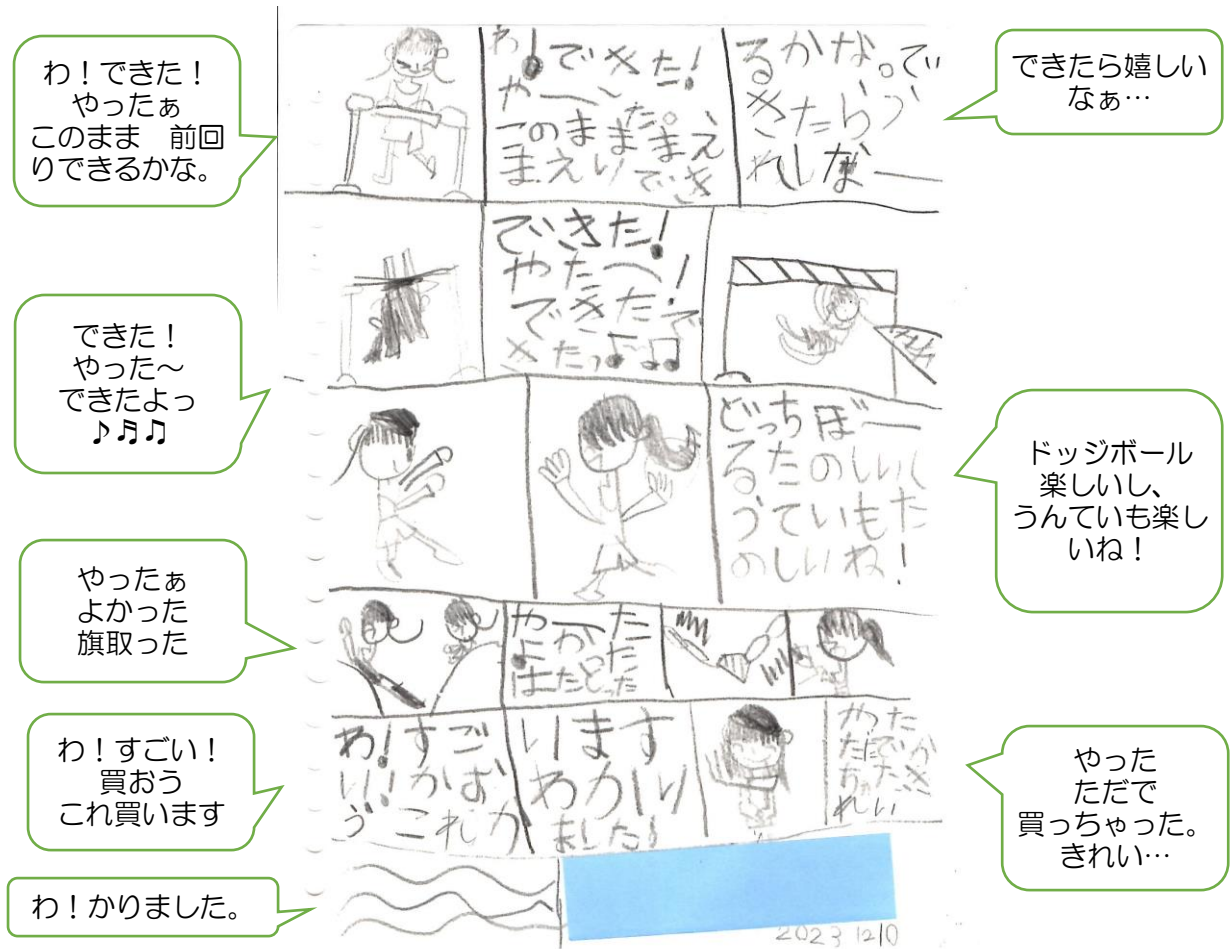
金よりも高額なんじゃないか?!という紙幣を、画用紙3枚貼り付けて作ってきました。その紙幣には、ちゃんと初めに「1」が描いてあり、その後を「0、0、0、0、0……」と無限の「0」が続いておりました。(笑)

「おばけめいろ」も「お店屋さん」も、お客さんが来てくれるからこそ嬉しく楽しい遊びです。こあら組の子どもたちにとっては、なつめ組の子どもたちに丁寧に関わってもらえることで、遊びが楽しくなり繰り返し、繰り返し遊ぶ姿につながっています。この経験を通して、こあら組の子どもたちは、この先自分たちの遊びの中に取り込んでいくことでしょう。今後が楽しみです。

1月、冬休み明けに元気に会いましょうね!!お土産話を楽しみにしております。



こちらは、年長児が描いた漫画です。面白いですよ。日常の出来事がこんな風にイメージと  
なって描かれていくんですね。豊かな感性を感じます。



## 《1月の保育について》

【3歳児】

<ねらい>

- いろいろなお正月遊びに興味をもつ。
- 気の合う友達と一緒に同じ遊びを楽しむ。

【4歳児】

<ねらい>

- 自分なりの表現を楽しんだり、いろいろなことに挑戦したりする。
- 友達の思いを聞いて理解しようとする。

【5歳児】

<ねらい>

- 友達と考えを出し合いながら遊びを進めることの楽しさを感じる。
- クラスのみんなで一つの目的に向かって取り組む楽しさを味わう。



## お知らせとお願い

- 「ふゆやすみのくらし」や「やくそくひょう」などを基に、冬休みを楽しく過ごしてください。特に交通事故や病気には気を付けてくださいね。
- 令和6年度本部役員選出に関わる指名委員会は、12月21日をもちまして、全て整い終えることができました。終業式までに日にちがないため、会員の皆様には、1月に指名委員会よりお知らせさせていただきます。よろしくお願いいたします。
- ご多用の中、保護者アンケートにお答えいただきましてありがとうございました。結果を基に、3学期を過ごしていきたいと考えております。